

【重要！】事前登録科目について

教養総合科目には、事前登録の科目が多くあります。「Ⅲ. 事前登録について (P41)」と大学ホームページ内（在学生・保護者の方へ→授業・履修→履修登録・時間割）の「事前登録科目一覧」を必ず確認してください。

【基礎科目群】

【神道科目(平成 25 年度入学者)】

1. 科目名の表記及び履修について

科目名最後尾の 3 桁の番号は講義内容を示しています。同じ科目名であっても最後尾の番号が異なっていれば、履修することが可能です。ただし、最後尾の番号が同じ場合は、重複して履修することができません。

2. 神道科目について

(全学部共通)

必修科目の「神道と文化」は、1 年次から 4 年次の間に半期 2 単位を必ず修得しなければなりません(神道文化学部は履修不可)。また、開講されているいずれの曜時でも自由に受講できますが、2 単位を超えて履修することはできません。

(文学部・法学部・経済学部)

選択科目の「神道と生活」、「神道と現代社会」は、配置された講義題目より、各自が自由に選択して修得することができます。教養総合科目の卒業要件単位 36 単位以上のうちに算入することができます。

(神道文化学部)

選択科目の「神道と生活」、「神道と現代社会」は、配置された講義題目より、各自が自由に選択して修得することができますが、卒業要件単位に算入できるのは 2 講義題目 4 単位までなので注意してください。

(人間開発学部)

必修科目の「神道と文化」は、1 年次から 4 年次の間に半期 2 単位を必ず修得しなければなりません。

未履修者は、「神道と文化」(たま・火 3・後期・太田直之)を履修してください。

選択科目の「神道と生活」、「神道と現代社会」は、配置された講義題目より、各自が自由に選択して修得することができます。修得単位は卒業要件 (124 単位) の中に算入されますが、教養総合科目としては算入されないので注意してください。

【神道科目(平成 21～24 年度入学者)】

1. 科目名の表記及び履修について

科目名最後尾の 3 桁の番号は講義内容を示しています。同じ科目名であっても最後尾の番号が異なっていれば、履修することが可能です。ただし、最後尾の番号が同じ場合は、重複して履修することができません。

2. 神道科目について

(全学部共通)

同一年度に履修登録できるのは 2 講義題目 4 単位までなので注意してください。

(文学部・法学部・経済学部)

「神道と文化」「神道と生活」「神道と現代社会」に配置された講義題目より、各自が自由に選択して 1 年次から 4 年次の間に 1 講義題目 2 単位を修得しなければなりません。

(神道文化学部)

選択科目ですが、卒業要件単位に算入できるのは 2 講義題目 4 単位までなので注意してください。

(人間開発学部)

「神道と文化」に配置された講義題目より、各自が自由に選択して 1 年次から 4 年次の間に 1 講義題目 2 単位を修得しなければなりません。

未履修者は、「神道と文化」(たま・火 3・後期・太田直之)を履修してください。なお、「神道と生活」「神道と現代社会」は卒業要件 (124 単位) の中に算入されますが、教養総合科目としては算入されないので注意してください。

【言語科目】

1. 必修科目の再履修(2～4 年生)

(日本文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科・法学部・経済学部・神道文化学部・人間開発学部)

1) 一般登録方式による登録

時間割表の「授業科目」欄において、科目名の後に(再)とついている以下の科目は再履修者用科目です。K-SMAPY から登録してください。なお、事前登録を行う科目もあります。詳細については、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ→授業・履修→履修登録・時間割)の「事前登録科目一覧」にて確認してください。また、後期開講科目は後期の履修登録時に K-SMAPY から登録してください。

① 前期開講科目「First Year English I (再)」

② 後期開講科目「First Year English II (再)」

2) 希望優先方式による事前登録

時間割表の「授業科目」欄において、科目名の後に(再)とついている以下の科目は再履修者用科目です。希望優先方式による事前登録を行います。詳細については、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ→授業・履修→履修登録・時間割)の「事前登録科目一覧」にて確認してください。なお、後期開講科目の詳細については、前期と同様に確認してください。

① 前期開講科目

「English I (R&W) (再)」/「English I (L&W) (再)」/「English II (R&W) (再)」

「English II (L&W) (再)」/「English II (S&W) (再)」

② 後期開講科目

「English I (R&W) (再)」/「English I (L&W) (再)」/「English II (R&W) (再)」

「English II (L&W) (再)」/「English II (S&W) (再)」

3) 前期及び後期開講科目の事前登録における共通の留意事項

① 希望優先方式による事前登録の留意事項

抽選により、前期において「English I」は1科目、「English II」は1科目(文学部は2科目)を上限として、後期においては、いずれも卒業要件を充足させるために必要な科目数を上限として当選しますが、希望が特定の科目に集中したなどの理由で当選しないこともあります。K-SMAPY における抽選結果の発表後、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ→授業・履修→履修登録・時間割)で2次募集の詳細をお知らせしますので、必ず登録してください。また、修得済みの科目と同じ科目(R&W 及び L&W、S&W)を履修しても構いません。なお、事前登録に際して第6希望まで選択可能ですが、毎年、希望選択数が少ないことによる抽選漏れが発生し、必要科目数分受講することができないケースが発生しています。未登録者は選択を放棄したものとみなされますので注意してください。

② 受講キャンパス・時間帯の制限

履修規程にかかわらず、いずれの開講場所・曜日・時限でも受講可能です。

4) 学部・学科指定科目の登録

(中国文学科)

以下の科目は再履修者用科目を開講していないので、再履修者は正規の授業(クラス指定されているが、いずれの科目も履修登録可能)を K-SMAPY から一般登録してください。なお、後期開講科目は後期の履修登録時に K-SMAPY から一般登録してください。

① 前期開講科目「中国語基礎 A I」/「中国語基礎 B I」

② 後期開講科目「中国語基礎 A II」/「中国語基礎 B II」

(法学部)

時間割表の「授業科目」欄において、科目名の後に(再)とついている以下の科目は再履修者用科目です。K-SMAPY から事前登録してください。なお、後期開講科目は後期の履修登録時に K-SMAPY から事前登録してください。

① 前期開講科目「English II (時事英語 I) (再)」

② 後期開講科目「English II (時事英語 II) (再)」

(経済学部)

時間割表の「授業科目」欄において、科目名の後に(再)とついている以下の科目は再履修者用科目です。K-SMAPY から事前登録してください。なお、後期開講科目は後期の履修登録時に K-SMAPY から事前登録してください。

① 前期開講科目「English II (Business English I) (再)」

② 後期開講科目「English II (Business English II) (再)」

平成 21～25 年度入学者

(神道文化学部)

以下の科目は再履修者用科目を開講していないので、再履修者は正規の授業を K-SMAPY から希望優先方式により事前登録してください。

- ① 前期開講科目 「English II (神道英語 I)」
- ② 後期開講科目 「English II (神道英語 II)」

(初等教育学科・子ども支援学科)

以下の科目は再履修者用科目を開講していないので、再履修者は正規の授業を K-SMAPY から一般登録してください。

- ① 前期開講科目 「English II (School English I)」
- ② 後期開講科目 「English II (School English II)」

(健康体育学科)

以下の科目は再履修者用科目を開講していないので、再履修者は正規の授業を K-SMAPY から一般登録してください。

- ① 前期開講科目 「English II (Sports English I)」
- ② 後期開講科目 「English II (Sports English II)」

2. 選択必修科目の再履修(2～4 年生)

(日本文学科・史学科)

時間割表の「授業科目」欄において、科目名の後に(再)とついている以下の科目は再履修者用科目です。K-SMAPY から登録してください。なお、事前登録の科目もありますので、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ)授業・履修→履修登録・時間割の「事前登録科目一覧」にて確認してください。また、後期開講科目は後期の履修登録時に K-SMAPY から登録してください。なお、ここでは科目名に日本文学科と史学科を併記して例示していますが、所属学科が記載された科目を履修してください。

- ① 前期開講科目
ドイツ語選択者 「ドイツ語基礎 I (日文)(再)」/「ドイツ語基礎 I (史)(再)」
フランス語選択者 「フランス語基礎 I (日文)(再)」/「フランス語基礎 I (史)(再)」
コリア語選択者 「コリア語基礎 I (日文)(再)」/「コリア語基礎 I (史)(再)」
- ② 後期開講科目
ドイツ語選択者 「ドイツ語基礎 II (日文)(再)」/「ドイツ語基礎 II (史)(再)」
フランス語選択者 「フランス語基礎 II (日文)(再)」/「フランス語基礎 II (史)(再)」
コリア語選択者 「コリア語基礎 II (日文)(再)」/「コリア語基礎 II (史)(再)」

以下の科目は再履修者用科目を開講していないので、再履修者は各学科指定された正規の授業(クラス指定されているが、いずれの科目も履修登録可能)を K-SMAPY から一般登録してください。なお、後期開講科目は後期の履修登録時に K-SMAPY から一般登録してください。

- ① 前期開講科目
中国語選択者 「中国語基礎 I (日文)」/「中国語基礎 I (史)」
- ② 後期開講科目
中国語選択者 「中国語基礎 II (日文)」/「中国語基礎 II (史)」

(外国語文化学科・哲学科※) ※哲学科は平成 23 年度以降入学者のみ

時間割表の「授業科目」欄において、科目名の後に(再)とついている以下の科目は再履修者用科目です。K-SMAPY から登録してください。なお、事前登録の科目もありますので、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ)授業・履修→履修登録・時間割の「事前登録科目一覧」にて確認してください。また、後期開講科目は後期の履修登録時に K-SMAPY から登録してください。

- ① 前期開講科目
ドイツ語選択者 「ドイツ語基礎A I (再)」/「ドイツ語基礎B I (再)」
フランス語選択者 「フランス語基礎A I (再)」/「フランス語基礎B I (再)」
- ② 後期開講科目
ドイツ語選択者 「ドイツ語基礎A II (再)」/「ドイツ語基礎B II (再)」
フランス語選択者 「フランス語基礎A II (再)」/「フランス語基礎B II (再)」

以下の科目は再履修者用科目を開講していないので、再履修者は各学科指定された正規の授業(クラス指定されているが、いずれの科目も履修登録可能)を K-SMAPY から一般登録してください。なお、後期開講科目は後期の履修登録時に K-SMAPY から一般登録してください。

- ① 前期開講科目
ドイツ語選択者 「ドイツ語中級A I」/「ドイツ語中級B」
フランス語選択者 「フランス語中級A I」/「フランス語中級B I」

中国語選択者 「中国語基礎AⅠ」/「中国語基礎BⅠ」/「中国語中級AⅠ」/「中国語中級BⅠ」

② 後期開講科目

ドイツ語選択者 「ドイツ語中級AⅡ」/「ドイツ語中級BⅡ」

フランス語選択者 「フランス語中級AⅡ」/「フランス語中級BⅡ」

中国語選択者 「中国語基礎AⅡ」/「中国語基礎BⅡ」/「中国語中級AⅡ」/「中国語中級BⅡ」

※「ドイツ語/フランス語/中国語中級BⅠ・BⅡ」は外国語文化学科のみ

3. 「基礎日本語」

「基礎日本語」は、半期2単位で開講される自由選択科目です。()内が同じ科目についても、重複して受講できませんが、同一時期に受講できるのは1科目までです。

「基礎日本語(文章表現)」は、わかりやすい文章作成能力を養うための科目です。少人数教育を実施するため、事前登録となっています。詳細については、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ→授業・履修→履修登録・時間割)の「事前登録科目一覧」にて確認してください。なお、3年生以上は受講できません。

【スポーツ・身体文化科目】

教養総合科目のうち、科学的及び文化的側面から、スポーツや健康・体力に関することを学ぶ科目を「スポーツ・身体文化」と呼び、1年次開講の「スポーツ・身体文化」は文学部・人間開発学部で必修となっています。履修方法については、以下の点に注意してください。

1. スポーツ身体文化ⅠA・ⅠB(2年次以上)

【文学部・法学部・経済学部・神道文化学部】(対象: 渋谷キャンパス開講科目のみ)

「スポーツ・身体文化ⅠA」(前期)は、事前登録を行います。詳細については、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ→授業・履修→履修登録・時間割)の「事前登録科目一覧」にて確認してください。なお、「スポーツ・身体文化ⅠB」(後期)は、後期事前登録期間に事前登録を行います。

【履修における注意事項】

①第一週目の授業は、教室で行います。事前登録の抽選結果が当選だった場合、K-SMAPYの「授業ごとのお知らせ」に第一週目の教室が表示されますので、確認してください。なお、第一週目の集合場所を変更する場合、K-SMAPYにおいてお知らせしますので注意してください。

後期における第一週目の集合場所についても同様に確認してください。

②「スポーツ・身体文化ⅠA」及び「スポーツ・身体文化ⅠB」の修得が進級条件となっている学科がありますので、各自の所属する学科・入学年度の『履修要綱』で確認してください。

【渋谷キャンパス】

時 期	曜 日	時 限	科目名	教員名
前期	月	2	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	長浜 尚史
前期	月	3	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	長浜 尚史
前期	火	2	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	泉 圭祐
前期	火	3	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	泉 圭祐
前期	水	1	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	野寺 和彦
前期	水	2	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	野寺 和彦
前期	木	2	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	水上 健一
前期	木	6	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	神事 努
前期	金	2	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	佐々木 三男
前期	金	3	スポーツ・身体文化ⅠA(再)	佐々木 三男
後期	月	2	スポーツ・身体文化ⅠB(再)	長浜 尚史
後期	月	3	スポーツ・身体文化ⅠB(再)	長浜 尚史
後期	火	2	スポーツ・身体文化ⅠB(再)	泉 圭祐
後期	火	3	スポーツ・身体文化ⅠB(再)	泉 圭祐
後期	水	1	スポーツ・身体文化ⅠB(再)	野寺 和彦
後期	水	2	スポーツ・身体文化ⅠB(再)	野寺 和彦
後期	木	2	スポーツ・身体文化ⅠB(再)	水上 健一
後期	木	7	スポーツ・身体文化ⅠB(再)	神事 努

平成 21～25 年度入学者

後期	金	2	スポーツ・身体文化 I B (再)	佐々木 三男
後期	金	3	スポーツ・身体文化 I B (再)	佐々木 三男

【人間開発学部】(対象: 渋谷キャンパス・たまプラーザキャンパス開講科目)

「スポーツ・身体文化 I A」(前期)は、事前登録を行います。詳細については、大学ホームページ内(在学生・保護者の方へ)授業・履修→履修登録・時間割)の「事前登録科目一覧」にて確認してください。なお、「スポーツ・身体文化 I B」(後期)は、後期事前登録期間に事前登録を行います。

「スポーツ・身体文化 I A」及び「スポーツ・身体文化 I B」の修得が進級条件になっている学科がありますので、各自の所属する学科・入学年度の『履修要綱』で確認してください。

【渋谷キャンパス開講科目・履修における注意事項】

第一週目の授業は、教室で行います。事前登録の抽選結果が当選だった場合、K-SMAPYの「授業ごとのお知らせ」に第一週目の教室が表示されますので、確認してください。なお、第一週目の集合場所を変更する場合、K-SMAPYにおいてお知らせしますので注意してください。

後期における第一週目の集合場所についても同様に確認してください。

【たまプラーザキャンパス開講科目・履修における注意事項】

第一週目の授業時は、以下の場所に集合してください(時間厳守)。第二週目以降の集合場所については、第一週目に行うガイダンスで確認してください。なお、集合場所を変更する場合には、K-SMAPYにおいてお知らせしますので注意してください。また、各時限での担当教員は、第一回の授業後に決定となります。

後期開講科目についても、同様に確認してください。

なお、教員免許状取得希望者は、「スポーツ・身体文化 I A」及び「スポーツ・身体文化 I B」が必修となりますので注意してください。

集合場所: 体育館アリーナ(たまプラーザキャンパス)

【たまプラーザキャンパス】

時期	曜日	時限	科目名	教員名
前期	金	1	スポーツ・身体文化 I A (再)	吉田泰将・恩田哲也・新海宏成
前期	火	1	スポーツ・身体文化 I A (再)	神事努・吉鷹幸春・杉山文宏・久保哲也
前期	木	4	スポーツ・身体文化 I A (再)	植原吉朗・林貢一郎・備前嘉文
後期	金	1	スポーツ・身体文化 I B (再)	吉田泰将・恩田哲也・新海宏成
後期	火	1	スポーツ・身体文化 I B (再)	神事努・吉鷹幸春・杉山文宏・久保哲也

【人間総合科目群】

【テーマ別講義科目】

1. 科目名の表記及び履修について

科目名最後尾の3桁の番号は講義内容を示しています。同じ科目名であっても最後尾の番号が異なっていれば、履修することが可能です。ただし、最後尾の番号が同じ場合は、重複して履修することができません。

※講義題目等の詳細は、シラバスを参照してください。

2. テーマ別講義科目について

(文学部・法学部・経済学部・神道文化学部)

「I 生活と文化の理解」「II 人間と社会の理解」「III 心性と思想の理解」「IV 人間と環境・技術の理解」のテーマ別に配置された以下の授業科目より、各自が自由に選択して1年次から4年次の間に4講義題目8単位を修得しなければなりません。

テーマ	授業科目名	単位数	備考
I 生活と文化の理解	歴史のなかの人間	2	
	民衆文化と生活	2	
	世界の文化と生活	2	
	比較文化・比較文学	2	
	言語と文化	2	

Ⅱ 人間と社会 の理解	社会のなかの人間	2	
	社会と歴史	2	
	世界の市民と社会	2	
	社会構造と市民	2	
	法学(日本国憲法)	2	
Ⅲ 心性と思想 の理解	芸術と人間	2	
	思想と文化	2	
	知識と感性	2	
	言語と思想	2	
Ⅳ 人間と環境・ 技術の理解	地球と環境	2	
	人間と環境	2	
	人間と自然	2	
	情報の科学	2	
	人間と技術	2	
テーマ外	日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	各2	留学生科目・留学生は必修

(人間開発学部)

以下の科目は教養総合科目の卒業要件 26 単位に算入されます。それ以外の科目は卒業要件 (124 単位) の中に算入されますが、教養総合科目としては算入されないので注意してください。また、科目名の前に[△]が付いている「言語と文化」「人間と自然」は、副専攻「スポーツリーダー養成への基礎 (平成 22 年度以前入学者)」を修得するために必要な科目として算入することができます。

「歴史のなかの人間」/「民衆文化と生活」/「言語と文化」/「社会のなかの人間」/「社会と歴史」

「法学(日本国憲法)」/「芸術と人間」/「知識と感性」/「言語と思想」/「人間と環境」/「人間と自然」/「情報の科学」

3. 日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲについて(留学生のみ対象)

外国人留学生は「日本事情Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の各 2 単位合計 6 単位を修得しなければなりません。

【総合講座科目】

複数教員がオムニバス形式で担当し、共通のテーマについて複数の学問領域より接近しながら学ぶことを目的として、開設されている授業科目を総合講座といいます。

- ① 1～4 年次に半期 2 単位の科目として開講されます。
- ② 講義題目が異なる限り、複数の講座を履修することができます。
- ③ 人間開発学部については、「総合講座(集団宿泊研修)」以外の「総合講座」は卒業要件 (124 単位) の中に算入されますが、教養総合科目としては算入されないの注意してください。
- ④ 「総合講座(集団宿泊研修)」は、人間開発学部学生専用科目 (必修科目) のため他学部学生は履修できません。詳細については、「導入基礎演習」の授業内で説明します。

【総合演習科目】

総合演習は、各学部・学科の専門教育科目の修得をふまえ、学部・学科を超えた学際的なテーマについて、より総合的かつ深く学ぶことを目的としています。「総合演習」については、下記のとおり履修規程が異なるので注意してください。

- ① 「総合演習(国際交流)」は、2 年次開講 (人間開発学部生は 3 年次開講) とし、同一年度 2 科目まで履修でき、卒業要件単位としては 4 科目 8 単位(平成 21 年度入学者は 2 科目 4 単位)まで参入できます。なお、交換留学生と合同で授業を行います。授業は英語で行われますので、登録の際は注意してください。
- ② 「総合演習(教職)」は、平成 21 年度入学者のみ履修可能です。3 年次開講とし、同一時期に登録できるのは 1 科目までです。

【キャリアデザイン科目】

1. キャリアデザイン

平成 20 年度以降に入学した法律学科法律専攻の学生は、専門教育科目に同内容の科目「キャリア・プランニング」が開講されているため、() 表記のない「キャリアデザイン」を履修することはできません。また、() 内が異なれば複数履修可となりますが、同一内容・テーマは複数履修できません。

2. 「インターンシップ I」の科目名変更

平成 21 年度以降入学者に対して『履修要綱』の規定を以下のとおり変更しましたので、各自で『履修要綱』を訂正してください。

新 「インターンシップ I (企業・公務員)」 ← 旧 「インターンシップ I (企業)」・「インターンシップ I (公務員)」

新 「インターンシップ I (教育・専門職)」 ← 旧 「インターンシップ I (教職)」

3. 「インターンシップ I・II」の履修について

「インターンシップ I」は、講義形式の科目で 4 年生は受講できません。「インターンシップ II」は、現場実習の科目で 1・4 年生は受講できません。また、「インターンシップ I」を修得済あるいは履修していることが、「インターンシップ II」の受講条件となります。なお、「インターンシップ II」は履修にあたり、所定の手続きが必要となります。詳細については、キャリアサポート課で確認してください。

4. 人間開発学部学生の履修について

「キャリアデザイン」「インターンシップ I」「インターンシップ II」は卒業要件 (124 単位) の中に算入されますが、教養総合科目としては算入されないので注意してください。

【情報処理科目群】

【コンピュータ技術演習科目】

1. コンピュータ教室におけるパソコン台数を上限として、事前登録による受講者数制限を行います。詳細については、大学ホームページ内 (在学生・保護者の方へ)→授業・履修→履修登録・時間割の「事前登録科目一覧」にて確認してください。
2. 「コンピュータ技術演習 (活用入門)」以外の科目では、基礎的な内容の授業は行わないため履修登録にあたっては注意してください。
3. 同一年度に、2 演習 4 単位を超えて履修することはできません。
4. 「コンピュータ技術演習」のうちいずれか 1 つでも修得した場合、教員免許状取得に必要な「情報機器の操作」として充当することができます。
5. 経済学部学生の場合、専門教育科目に同内容の科目 (「コンピュータと情報 A」等) が開講されているため、すべての「コンピュータ技術演習」を履修することはできません。

【応用科目群】

【発展言語科目】

1. 「Advanced English」

「Advanced English」は、半期 1 単位で開講される自由選択科目です。() 内が同じ科目についても、重複して受講できますが、同一時期に履修登録できるのは 1 科目まで となりますので注意してください。

2. 「Advanced English (資格英語)」

「Advanced English (資格英語)」は、担当者により授業の難易度が異なります。WEB シラバスで内容を確認し、各自のレベルに合った授業を選択してください。

3. 「Advanced English (上級英語)」

1～4 年次の自由選択科目で、毎年履修でき、受講数に上限はありません。半期 1 単位の科目で、同一科目名であっても重複して履修できます。

4. 「Advanced English (コミュニケーション)」の表記について

この『時間割表』における「Advanced English (コミュニケーション)」の表記は、「Advanced English (com)」と省略して記載していますので注意してください。

5. 「Basic English (はじめての英語)」

「Basic English (はじめての英語)」は、英語未修の外国人留学生以外は履修できませんので注意してください。

6. 「資格ドイツ語・資格フランス語・資格中国語」

1～4 年生に共通の自由選択科目であり、半期 1 単位で開講される自由選択科目です。同じ科目についても、重複して受講できますが、同一時期に受講できるのは 1 科目までです。

7. 選択外国語

1～4年生に共通の自由選択科目であり、[ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・英語]の中から、各自が自由に選択して受講できます。受講可能言語数、科目数に制限はありません。

【発展スポーツ文化科目】

1. 「スポーツ・身体文化Ⅱ」の履修について

「スポーツ・身体文化Ⅱ」は、科学的及び文化的側面から、スポーツや健康・体力に関する各人の興味と関心とを実践的に、より深く掘り下げることを目的とする選択科目です。なお、「スポーツ・身体文化Ⅱ」は同じ種目でも複数受講できますが、卒業に要する単位に算入できるのは8科目8単位までなので注意してください。

「スポーツ・身体文化Ⅱ」は、「スポーツ・身体文化Ⅱ(テニス)」「スポーツ・身体文化(弓道)」のように()内で種目が示されています。科目の内容については、シラバスを参照してください。

1) 「スポーツ・身体文化Ⅱ」の履修について

履修希望者は、第一週目の授業時に以下の表における教室に必ず集合してください(時間厳守)。なお、第一週目の集合場所を変更する場合及び後期における第一週目の集合場所については、K-SMAPYにおいてお知らせしますので注意してください。

【たまプラーザキャンパス】

教員名	曜日	時限	時期	集合場所	教員名	曜日	時限	時期	集合場所
志村 広子	月	1	前期	105	志村 広子	月	1	後期	後期授業 開始時に 連絡
久保 哲也	火	2	前期	505	久保 哲也	火	2	後期	
服部 豊示	水	1	前期	105	服部 豊示	水	1	後期	
服部 豊示	水	2	前期	105	服部 豊示	水	2	後期	
矢崎 弥	木	1	前期	507	矢崎 弥	木	1	後期	
内藤 裕子	木	2	前期	505	内藤 裕子	木	2	後期	
新海 宏成	金	2	前期	506	新海 宏成	金	2	後期	
上口 孝文	土	2	前期	105	上口 孝文	土	2	後期	

※ 第二週目以降の集合場所については、各担当教員の指示または体育館掲示板を確認してください。

2) 「スポーツ・身体文化Ⅱ」の開講学年について(人間開発学部のみ)

平成 21～24 年度入学の人間開発学部の学生は、「スポーツ・身体文化Ⅱ」の開講学年が 3・4 年となっていますので注意してください。

【単位認定科目】

1. 夏期・春期短期留学

本学主催の各短期留学に参加し、一定の条件を満たした者について、その研修参加を卒業要件単位として認定します。この履修単位は「留学英語」、「留学中国語」として教養総合科目として認定されます。この科目は留学の参加を申し込み、単位認定を希望した場合に自動的に登録されます。なお、留学先は状況により変更される可能性がありますので、国際交流課で確認してください。

また、留学先が異なれば、短期留学には複数回参加できますが、単位認定は同一言語内において 2 科目 4 単位までとなりますので、注意してください。

2. 単位互換制度

単位互換制度によって修得した単位は、12 単位までを教養総合科目の卒業要件単位 36 単位以上のうちに算入することができます。詳細は、「V. 単位互換制度について (P93)」を確認してください。

3. 検定・資格試験による単位認定(平成 23 年度以降入学者対象)

TOEIC・TOFELにおいて所定の成績を修め、以下の科目における単位認定を希望する学生は、公式認定証とそのコピーを持参のうえ、前期履修登録期間内または後期履修登録期間内に教務課窓口へ申し出てください(履修登録期間外の申請による単位認定は一切認めません)。なお、認定単位数は、年次別履修制限単位のうちに含まれません。

「TOEIC 500 点以上または TOEFL 50 点以上(iBT)を取得」→「英語検定試験(中級)」

「TOEIC 650 点以上または TOEFL 70 点以上(iBT)を取得」→「英語検定試験(上級)」

注 1) 上記科目をすでに修得済の場合は、重複して単位を修得することはできません。

注 2) 上記 2 科目のうち「英語検定試験(上級)」の認定基準を満たしている場合、「英語検定試験(中級)」の認定基準も満たしていることになるので、同時に 2 科目 4 単位が認定されます。ただし、すでに「英語検定試験(中級)」の単位を修得済の者は、重複してその単位を取得することはできません。